

授業科目 医療福祉チームワーク論

【担当教員名】 遠藤 和男 (各学科の助手数名)	対象学年	1	対象学科	理学・作業・言語・健康・社会
	開講時期	後期(前半)	必修・選択	選択
	単位数	1	時間数	15

<概要> チームワークは講義では学べないので、グループ討議を中心とする。チーム・地域・人間性重視を柱とした「全人的医療論」は3年後期の科目である。また、平成17年度からは3年生に移行して必修科目となる予定である。平成13年度143人、14年度158人、15年度226人と教室が一杯になってきたため、本年度は抽選を行なうかも知れない。本年度は1年生に授業を行なう最終年度であり、各学科の助手からアシスタント役を務めてもらうことになっている。

<一般目標：G I O>
将来チーム医療に携わる一員として活躍するために、グループワークの重要性を理解する。

<行動目標：S B O>
1. グループワーク、コミュニケーションの重要性を説明できる。
2. 医療福祉関連職種を列挙し、自らの目指す専門職の独自性を説明できる。
3. 日本の老人保健・医療・福祉の問題点を指摘できる。
4. 日本の医療と福祉との連携について、解決策を立てることができる。
5. グループワークに積極的に参加する。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法/担当教員
1	医療福祉関連職種	2	2 講義と演習/遠藤のみ
2	専門職種の独自性	1, 2	小グループ討議 /遠藤+各学科の助手数名
3	大切なものはなあに?	1, 5	同上
4	日本の老人保健・医療・福祉の問題点	3, 5	同上
5	二次元展開法と解決策	4, 5	同上
6	情報伝達ゲーム	1, 5	同上
7	医療福祉チームワークの問題点	3, 5	同上

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書	なし			
参考書	チーム医療論	鷹野和美編著	医歯薬出版	2002、¥2,000+税
その他の資料				

【評価方法】 いわゆるペーパーテストは実施しない。 授業中に演習した方法論に基づいてレポートを提出する。またほぼ毎回アンケートをとる。	【履修上の留意点】 概要でも述べたように、グループ討議を主体とする。したがって積極的な参加を望んでいる。引っ込み思案を治したいというならよいけれども、積極的に参加しない限り、履修する意味は全くないと言ってよいので注意のこと。
---	---

全科共通科目 医療福祉